

# FIND関数

## 指定された文字列が存在するかどうかを論理値で返す

◇機能

指定された文字列が、特定のフィールド中またはレコード全体のどこかに存在するかどうかを示す論理値を返します。  
【MATCH関数との違い】FIND関数は、複数の文字列を検索することはできませんが、完全一致検索が可能です。

◇構文

FIND(出現番号,検索文字列,検索フィールド)

	引数	入力内容
1	検索する文字列	検索したい文字列を指定します。 「検索フィールド」で数値型、日付時刻型のフィールドを指定する場合も、「文字列」には文字型データとして入力します。 (例) 数値型フィールドに「35」があるか検索する場合 : "35" 日付時刻型フィールドに「2023/01」があるか検索する場合 : "2023/01" (「検索方法」を部分一致とすると、「2023/01/01」や「2023/01/15」を検出できます。)
2	検索方法	検索方法を部分一致とするか完全一致とするかを数値で指定します。 0 : 部分一致、1 : 完全一致
3	大小区別	アルファベットの大文字と小文字を別の文字として区別するかを数値で指定します。 1にした場合、「Tokyo」と「TOKYO」は、異なる文字列とみなされます。 0 : 区別しない、1 : 区別する
4	検索フィールド (省略可)	検索の対象となるフィールド (文字型、数値型、日付時刻型) を選択します。 ● 複数のフィールドを指定する場合は、[フィールド1]+[フィールド2]のように、+でフィールド名を追加します。ただし、数値型フィールド同士の場合は、フィールドの値を合計した結果を検索します。また、数値型フィールドと日付時刻型フィールドの場合は、日数計算をした結果を検索します (日付時刻型フィールド同士は、サポートしていません)。 ● 空欄にした場合 (引数を省略した場合) は、すべてのフィールドが検索対象となります。

FIND

FIND (検索する文字列, 検索方法, 大小区別, 検索対象フィールド)

検索する文字列

検索する文字列を指定します。

検索方法

0

0 : 部分一致 1 : 完全一致

大小区別

0

0 : 区別しない 1 : 区別する

検索対象フィールド

検索場所のフィールドを選択。(省略可能)

指定された文字列が、特定のフィールド中またはレコード全体のどこかに存在するかどうかを示す論理値を返します。

● 検索方法

: 検索する際に、部分一致か完全一致かを選択します。

● 大小文字区別

: アルファベットの大文字と小文字を区別するかどうかを選択します。

● 検索対象フィールド

: 「検索する文字列」をどのフィールドで検索するか指定します。

省略 (空欄) した場合は、すべてのフィールドから検索します。

複数フィールドから検索する場合は、フィールド名を足し算することで検索できます。

例) [フィールド名1] + [フィールド名2] ⇒ 「フィールド名1」または「フィールド名2」から検索

OK

キャンセル

1

© 2023 SanKei Biz Consulting, Corp.

論理型 (True/False)

右のデータでFIND関数による抽出を行った場合の例です。

番号	フィールド1
1	ABCDE
2	Abcede
3	abcde

抽出する内容			式	抽出されるレコードの番号
検索する文字列	検索方法	大小区別		
abc	部分一致	区別なし	FIND("abc",0,0,[フィールド1])	1、2、3
abc	部分一致	区別あり	FIND("abc",0,1,[フィールド1])	3
abc	完全一致	区別なし	FIND("abc",1,0,[フィールド1])	なし
abcde	完全一致	区別なし	FIND("abcde",1,0,[フィールド1])	1、2、3
abcde	完全一致	区別あり	FIND("abcde",1,1,[フィールド1])	3
bc	部分一致	区別なし	FIND("bc",0,0,[フィールド1])	1、2、3
bc	部分一致	区別あり	FIND("bc",0,1,[フィールド1])	2、3
bc	完全一致	区別なし	FIND("bc",1,0,[フィールド1])	なし